

女性研究者支援事業は、本学の「フォローアップ事業」として継続しています。



女性研究者支援 フォローアップ事業について 谷口 尚 副学長/本事業 統括責任者

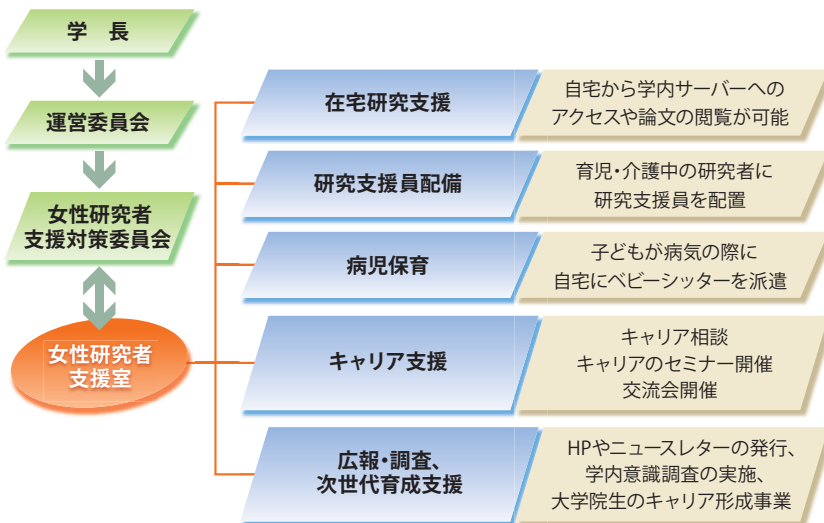
を迎えました。最終年度である昨年度には、教養部を含む

全学を対象とした事業展開を行いました。事業を実施した3年間において、雇用・勤務形態・評価事業、在宅研究支援事業、研究支援員配備事業、保育事業、キャリア支援事業、意識改革事業、広報および調査事業などを実施してまいりました。

この3年間の事業展開・成果により、本学において女性支援への意識を高めることができました。そこで、女性研究者支

援事業を継続して行うため、今年度は「フォローアップ事業」として実施してまいります。フォローアップ事業では、女性研究者の学業・研究などのキャリアを支援するためのシステム構築を強化できるよう、活動を展開していく所存です。今年度は、全ての部門メンバーから構成される女性研究者支援対策委員会を組織し、多様性のある女性研究者が最大限の力を発揮できる職場環境を構築すべく、活動を行なってまいります。今後も女性研究者支援事業を定着・充実させ、学内の女性研究者や女子学生が安心して子どもを産み、子育てと研究・勉学・仕事を効率よく共存させることができるような環境整備や意識改革に努めてまいります。

平成23年度 女性研究者支援フォローアップ事業 体制



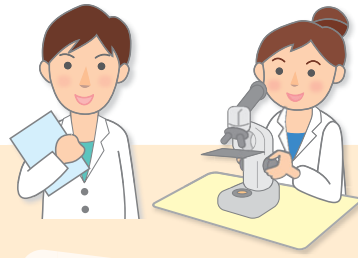
事業継続のごあいさつ

女性研究者支援室 特任助教 有馬 牧子

平成22年の3月末日で、お陰さまで「女性研究者支援モデル育成事業」が無事に終了いたしました。3年間のモデル育成事業を展開したことで、学内での女性研究者支援の意識が高まり、環境の整備も進んで来ていることを実感しています。私自身、助教として様々なキャリア支援事業や女性支援、ワーク・ライフ・バランスを推進する事業に関わらせて頂きました。学内にこれらの新しいプログラムが計画・実施され、それが広まり、定着していく経過を見ていくのは当事者として、また一卒業生としても感慨深いものがありました。平成23年度は本学のフォローアップ事業として採択されま

したので、継続して女性研究者支援事業を実施しております。本年度は、キャリア支援事業に更に取り組みたいと考えております。医歯学・生命科学系の総合大学である本学は、様々な分野のプロフェッショナルを養成している医育機関です。早期からのキャリア教育を実施することで、学生や若手の研究者が将来どのような医療人・研究者になりたいか、今後のキャリアパスの方向性を具体的に考えることができます。これらのキャリア支援事業を行うことで、本学の女性研究者・学生が安心して子供を生み、育児・介護と研究・仕事との両立のサポートをすることが可能となります。そしてゆくゆくは、東京医科歯科大学が「女性にやさしい大学」として世間により広く普及されるよう、事業を推進して参りたいと存じます。

女性研究者支援室では、
学内の男女の皆さまのキャリア支援と、
仕事(研究・学業)と家庭(育児・介護)との
両立支援を行っています。



Q&A

Q1 今後のキャリアに悩んでいます。
博士課程の大学院生です。自分の将来に
ついて、漠然とした不安をかかえています。「このまま
研究を続けて良いのか?」「学位は取れるのだろうか?」
と悩んでいます。将来についての考えもまとまっておらず、
誰に相談して良いのかもわかりません。

A1 当室ではキャリア相談を行っています。
専任のキャリアコンサルタントが学内の皆様
のご相談に応じています。「今後の進路」「研究室や職場
内での悩みや人間関係」「研究と育児との両立が不安」
「周囲とコミュニケーションが取れない」など、些細なこと
でも一人で悩まず、お気軽にご相談下さい。また、将来の
目標やゴールを実現していくための指導もしています。

Q2 理系の大学院生には、どんなキャリア
パスがあるのでしょうか。
修士課程の大学院生です。将来は博士課程に進んで
学位を取りたいのですが、卒業後はアカデミックの道を
進むのか、企業に就職するかで悩んでいます。理系の大
学院生にはどのようなキャリアパスがあるのでしょうか。

A2 当室の「次世代育成支援事業」に
参加されてみてはいかがでしょうか。
本学の女子大学院生が、今後のキャリアを形成するのに
必要な企画を自主的に運営する事業を行っています。
事業に参加した大学院生からは、「今後のキャリア形成
の道筋を作ることができた」「この事業に参加して、研究
室外での友人が出来た」といった声が届いています。

(次ページ参照)

Q3 子どもが急に発熱しても、仕事を休めずに困っています。
看護系の教員です。1歳の息子がいるのですが、急に発熱することがよくあります。3日前に
も発熱し、今は落ち着いているものの、体温が高いと保育園では預かってもらえません。私自身も急に
大学の仕事を休みにくく、夫も仕事を休めません。このままでは、仕事を続けていけるか不安になります。

A3 当室では「病児保育事業」を行っていますので、ぜひご利用ください。
ピジョンハーツ株式会社と提携し、病気回復期等のお子さんのケアを行う「派遣型病児
保育事業」を実施しています。事前に登録をしておけば、急にお子さんが発熱した場合等にご自宅
までシッターさんが伺います。対象は生後0カ月から小学校6年生までのお子さんを持つ本学の
女性教員及び医員、ならびにピジョンサービスの対象地域にお住まいの方です。詳細は、当室HPの
「病児保育利用募集のお知らせ」をご覧ください。

Q4 研究と育児の時間が、
それぞれ十分に取れません。
助教として研究に励んでいます。2歳の娘がおり、研究
と育児との両立に追われる毎日です。夫も仕事が忙し
く、朝早く出かけて夜遅く帰宅することが多いため、育
児はほぼ私が行っています。一方で論文も仕上げなくて
はならず、研究と育児とを両立したいけれど、両方に時
間がとれず、どうしたらよいか分かりません。

A4 当室では「研究支援員配備事業」を
行っています。
当室では、自分の研究業務のサポートを行う「研究支援
員」を配置する事業を行っています。対象は本学の女性
教員、研究員、医員で、妊娠・育児・介護または女性に
多い疾病により、研究のサポートを必要としている方
です。詳細は当室HP「研究支援員配備事業利用募集
のお知らせ」をご覧ください。(4ページ参照)

Q5 在宅でもっと研究作業を
進めたいです。
母親が要介護となり、自宅介護をしています。大学で
仕事をしていても電話で呼び出されることが多く、研究
や論文を進める時間が十分に取れません。母が夜寝た
後や介護の合間などに、もっと在宅で研究作業を進めら
れれば良いのですが。

A5 当室では「在宅研究支援システム事業」
を行っています。
このシステムにより、自宅PCから学内PCと同一内容の
メールの送受信やファイルの共有、オンラインジャー
ナルの閲覧が可能となり、自宅での資料収集や文献
検索等が可能です。詳細は当室HP「在宅研究支援シ
ステム利用募集のお知らせ」をご覧ください。

オープンキャンパスに参加しました。

平成23年7月28日(木)に本学のオープンキャンパスが行われ、当室の活動内容をまとめたポスターを展示しました。当日は約2,600名の方が参加され、多くの方が当室のブースの前に立ち寄りました。親子や友人同士で当室のポ

スターを読んだり、“Career Tree(キャリアの木)”に、自分の将来の願い事を書き込むというイベントを行いました。参加者の方々の将来の夢が書き込まれた、華やかな“Career Tree”が完成しました。



Career Support

女子大学院生のための次世代育成支援事業を実施しています。

昨年度に引き続き、女子大学院生のための次世代育成支援事業を実施しています。本学の大学院生には様々なキャリアの選択肢がありますが、「将来Ph.D.をどうやって仕事に活かせるのか」「研究職にはどんな道があるのか」「将来、家庭と仕事との両立は出来るのか」など、キャリアに不安を抱いている大学院生が多いのが実情です。

そこで大学院生自身が自分のキャリア形成に必要なプロジェクトを自主的に企画し運営する事業を実施しています。今年度は9名がメンバーとして採択され、平成23年10月14日(金)にキックオフミーティングを実施しました。ミーティングでは興味のある企画内容のグループごとに分かれ、「仕事/研究と育児との両立方法について知りたい」「女性同士の交流の場が欲しい」「海外で活躍している研究者の

話を聞きたい」といった多くの企画案が出されました。今後の事業に向けて、活発な意見交換が行われました。

今年度の参加メンバー

(五十音順)

- Aw Wanpingさん(生命情報教育部 生命情報分野)
- 北 詰 晶 子さん(医歯学総合研究科 消化器病態学分野)
- 佐 伯 和 美さん(医歯学総合研究科 皮膚科学分野)
- 孫 美 娜さん(医歯学総合研究科 小児歯科学分野)
- 中 島 幸 恵さん(医歯学総合研究科 小児歯科学分野)
- 湊 智 江さん(生体材料工学研究所 分子制御分野)
- 本 下 愛 子さん(医歯学総合研究科 生殖機能協働学分野)
- 山 本 弥生子さん(医歯学総合研究科 歯髄生物学分野)
- 横 山 奈那子さん(生体材料工学研究所 有機材料分野)



研究支援員配備事業を実施しています。

女性研究者支援室では女性研究者のキャリア支援やライフ支援の一環として、「研究支援員配備事業」を実施してまいりました。今年度も出産・育児・介護、あるいは女性特

有な疾患によりキャリア継続に困難を感じている方を対象に研究の補助を行う「研究支援員」を配置しています。今年度は、以下の3名が採択されました。

今年度の採択者と研究テーマ

- 難治疾患研究所 分子病態分野 特任助教 成瀬 妙子さん
「NKレセプター/リガンドのゲノム多様性解析」
- 大学院保健衛生学研究科 高齢者看護・ケアシステム開発学分野 特任助教 五十嵐 歩さん
「在宅看取りの推進をめざした訪問看護・訪問介護・介護支援専門員間の協働のあり方に関する研究」
- 大学院医歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野 助教 宮島 美穂さん
「てんかん発作が心拍変動に与える影響について」



女性研究者支援室が移転しました。

平成23年9月21日(水)に、1号館西519号室から522号室に移転しました。お気軽にお立ち寄りください。



入口写真

現在は秋バージョンとなっています。

室内写真



中にはカウンセリング室もあります。

女性研究者支援室のホームページをリニューアルしました!



当室のホームページをリニューアルしました。

新アドレスは、<http://www.tmd.ac.jp/ang/>です。当室のご利用方法など、分かりやすくご案内しています。女性研究者対策委員からのキャリア支援のメッセージや医療者のキャリアについて

のページなど、内容が新しくなりました。ぜひご活用下さい。



当室は2名で対応しています。お気軽にお立ち寄りください。

編集
発行

東京医科歯科大学 女性研究者支援室
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 1号館西5階 522号室

Email: info.ang@tmd.ac.jp
電話: 03-5803-4921 FAX: 03-5803-0246
URL: <http://www.tmd.ac.jp/ang/>